



YMI WORLD

「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」

ワイズメンズクラブ国際協会

2026年6月

ヘンリー D. グライムズ 生涯にわたる奉仕

ワイズメンズクラブ国際協会（YMI）の初代国際書記長であるヘンリー・D・グライムズが、米国YMCAが授与する最高の榮譽の一つである全米YMCA殿堂入りの追贈者に選ばれました。

YMIの最初のスタッフチーム

ヘンリー・グライムズと共に



クインシー通り25番地のスタッフ

国際書記・会計事務局の職員たちが、微笑む上司とともに微笑みながら記念写真に収まっています。

ヘンリー・グライムズはこの写真を歯磨き粉の広告のようだと言いました。彼は、そう思いましたが、私たちは、そうは思いませんでした。

実際には、ここに写っているのは、皆さまの手紙や苦情を受け取り、備品の注文を処理し、クラブの報告書や会員名簿を整理・確認し、国際会費を受け取り、その他数多くの職務を遂行している、国際書記・会計事務局の誠実で勤勉な人々です。これらの業務は、「クインシー通り25番地」において円滑かつ効率的に処理されています。この住所は、他のどの場所よりも、ワイズメンズクラブ国際協会の「本部」を意味しています。

私たちは、この写真を掲載できることを喜ばしく思います。なぜなら、この写真は、ワイズダムの日常業務に大きな責任を担っている人々を示しているからです。

前列 左から右へ

ドロシー・クラドック：非常勤速記者。月曜日および繁忙期に勤務。ルース・アダムズ：速記者兼ファイル係。毎日5時間勤務。アイリーン・スチューデント：秘書。19年間にわたりワイズダムにフルタイムで勤務。アイリーン・テイシェイラ：備品管理担当のフルタイム秘書。

後列

エリザベス・ライダー：非常勤事務補助員。グレース・ハヨシー：事務および速記補助員。毎日6時間勤務。アリス・ブノワ：非常勤秘書。自宅で書簡業務を担当。ヘンリー・D・グライムズ：国際書記・会計。アグネス・V・グライムズ（ヘンリー夫人）：比類のない補佐役、助言者、そしてHDG（ヘンリー・D・グライムズ）の力強い支援者。

この写真を通じて、マサチューセッツ州ローレンス、クインシー通り25番地のスタッフ一同は、世界中のワイズメンの皆さまに心からのご挨拶を送ります。

目次

本誌の内容は、YMIクラブの熱心な会員および役員の方々の尽力によって成り立っており、心より感謝申し上げます。また、外部からの記事やメッセージを掲載することもあり、その場合は、寄稿者の方々のお名前を明記いたします。

| | ページ |
|---|-----|
| YMIの最初のスタッフチーム | 2 |
| 国際会長メッセージ エドワード・K・W・オン 国際会長 | 4 |
| 地域奉仕 (CS) 表彰 | 5 |
| 国際本部ニュース ジョース・ヴァルギース 国際書記長 | 6 |
| ヘンリー・D・グライムズの遺産 デビー・レッドモンド 国際ヒストリアン | 7 |
| 2025/26年度年次レビュー ジョース・ヴァルギース 国際書記長 | 8 |
| ブルーミュージック - YMIの2026/27年ビジョン ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク 次期国際会長 | 10 |
| YMIとYMCA フィリップス・チェリアン YMIから世界YMCA同盟へのリエゾン (YL) | 14 |
| アジア太平洋地域ニュース 利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者 | 15 |
| カナダ/カリブ海諸国地域ニュース ジョウン・ウィルソン 元国際会長 | 17 |
| ヨーロッパ地域ニュース ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者 | 18 |
| インド地域ニュース ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者 | 20 |
| 韓国地域ニュース チョン・ギョンジュ 韓国地域ニュース編集者 | 23 |
| 人生における最大の信仰！ ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任 | 25 |
| 米国地域ニュース メラニー・カアイフエ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者 | 26 |
| 国連デー ロイズ・マラセリー 国連プロジェクト委員会メンバー | 27 |
| IYC 2026 国際ユース委員会 | 28 |

編集者から

YMI ワールドに関するご意見やアイデアを共有するには、編集部までご連絡ください。

7月は、
広報・コミュニケーションの強調月間です。

インパクトのあるストーリーを投稿するには、こちらをクリックしてください。

締め切り：2026年6月15日

[編集者へ](#)



2025/26年を振り返る 奉仕と親睦の1年

国際会長 エドワード・K・W・オン

2025/26年度が終わりに近づき、リーダーシップが引き継がれるにあたり、私たちの多くは、深い誇りと同時に、少しばかりの寂しさを感じるかもしれません。

退任されるチームメンバーの皆様へ、クラブレベルでも国際レベルでも、皆さまの献身、協力、そして揺るぎないサポートに心からの感謝と敬意を表します。

今期が始まったとき、私たちは、高い目標と開かれた心でスタートを切りました。国際会長主題である「信念、愛、行動」は、まるで舵のように私たちを導いてくれました。私たちは、愛をもって奉仕し、イエス・キリストの教えに触発され、思いやりと共感を基盤とした行動を取り、自分たちよりも大きな何かを築き上げることができるという共通の信念を持っていました。私たちは自分たちの価値観に基づいて目標を設定し、影響力のあるプログラムやプロジェクトを実施することができました。共に歩みを進める中で、私たちは、前向きで敬意を払うことを学びました。そして、地域社会に喜びと安らぎをもたらすことで、私たち自身にも同じ喜びと安らぎがもたらされることを発見しました。

毎月のYMIワールドでは、聖書の教えに従い、互いに励まし合い、刺激し合い、より広い範囲に手を差し伸べ、最も弱い立場にある人々、迷える人々、そして社会から疎外された人々に手を差し伸べるために、あらゆるレベルで愛の働きを共有しました。

私たちは、食事の提供、住宅建設、自然災害被災者への救援活動といった数々の物語を目にしてきました。しかし、活動時間や募金活動の成果は、物語のほんの一部に過ぎません。より深い遺産は、子どもたちを養うために奮闘するシングルマザー、見守られ、大切にされていると感じた高齢の隣人、そして明日のハイカーのために整備された森の小道といった、静かに築かれた信頼関係の中にあります。私たちは、YMIの医療専門家が各地から集まり、国境を越えた保健活動など、より大規模なプロジェクトを調整するために、部、区、地域が連携する様子を目の当たりにしてきました。私たちの活動を通して、子どもたちに希望を与え、彼らが夢を育むことができる未来を形作る手助けをしてきました。

継続性は、ボランティア活動の不変の原則です。新任の役員や会員の皆さまは、生き生きと進化し続ける組織を受け継ぐこととなります。YMIは、奉仕する庭師たちの手入れによって花を咲かせる庭園のようなものです。YMIでは、「設立当初から、候補者が役職を求めるのではなく、役職が候補者を求めるべきである」という暗黙のルールがありました。現役のリーダー、退任した役員、一般の会員を問わず、すべての会員は「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」というモットーを尊重することが求められます。

振り返ってみて、誇りに思ってください。あなたは、家族の支えを受け、先人たちの勇気に触発され、時間、才能、そしてその他多くのものを捧げました。あなたの貢献は、人によってはささやかなものに思えるかもしれませんが、確かに大きな変化をもたらしました。

準備と懸命な努力に費やした深夜は、今や共に成し遂げた成果と喜びの思い出となりました。寛大さとボランティア精神を、次の章へと受け継いでください。

新しく加わるチームの皆さんへ——皆さんが引き継ぐのは、行動計画ではなく、生き生きとしたコミュニティです。そのコミュニティに耳を傾け、挑戦し、愛してください。前のチームは、温かい、やかんと開かれた扉を残して去っていきました。

私たちは、共に力を合わせることで、より強くなれます。YMIのボランティアのおかげで、この組織は、単なる機能的な組織ではなく、家族のような存在となっています。リーダーシップとは、他者が輝ける場を創り出すことです。感謝の気持ちは、数え切れないほどのささやかな、地味な行動の中に、たとえ簡単な感謝のメッセージであっても見出すことができます。私たちは、困難を乗り越え、回復力を培い、力強く、そして確固たる信念を持って使命を果たし続けています。

「あなたがたのために立てた計画は、私がよく知っている——主の仰せ。それはあなたがたに将来と希望を与える平和の計画であって、災いの計画ではない。」（エレミヤ書29章11節）

神と神の祝福に栄光あれ

心からの感謝を込めて、エドワード・K・W・オン

地域奉仕活動（CS） 表彰

2020年以来、年間CS賞は、世界中の地域社会に真の変化をもたらす優れたプロジェクトを表彰し、卓越したYMIクラブとその会員の献身、思いやり、そして影響力を称えてきました。



賞には2つのカテゴリーがあります。

独立：単一のクラブが調整・実行する地域奉仕活動

共同：部、区、または地域レベルで複数のクラブが参加する地域奉仕活動

応募者は、以下の条件を満たす必要があります。

進行中の地域奉仕活動の様子を写した写真または動画を少なくとも1枚含めてください。

1. 1つのプロジェクトまたは活動を代表して提示してください。
2. 社会的に疎外された人々を直接支援または奉仕するもの
3. 調整および実施を主に申請者自身が行うもの
4. 少なくとも20人以上の直接受益者がいること
5. 実施クラブのメンバーのうち、少なくとも20%の者は何らかの形で関与していること。

応募書類は、毎年6月15日から6月30日の間に、国際執行役員がCS国際事業主任の協力を得て審査し、順位付けを行います。

今すぐ応募しましょう！

6月15日までにお申し込みください。





ジョース・ヴァルギース

YMIにとって素晴らしい一年

6月30日のYMIの年度末が近づくにつれ、これまでの歩みを振り返り、達成した成果を祝い、共通の使命への決意を新たにする時が来ました。

6月は、歴史とYMCAとの関係を重視する月として認識されており、YMIの豊かな伝統と、会員の献身と奉仕によって影響を受けた数え切れない人々の人生を改めて思い起こさせてくれます。過去1年を振り返ると、祝うべきことがたくさんあり、自信と希望を持って未来を見据える理由も数多くあります。

5月のハイライトの一つは、世界各地で複数の区大会が成功裏に開催されたことです。国際会長のエドワード・K・オンは、香港で開催された第92回南東アジア区大会に出席し、会員たちは親睦を深め、奉仕とリーダーシップへの決意を新たにしました。また、今月の重要な節目として、YMIのヨーロッパ地域とヨーロッパYMCA同盟の間でパートナーシップおよびプロジェクト協定が締結されました。この協定により、両組織間の協力関係が強化され、ヨーロッパ全域におけるミッション活動、青少年育成、地域社会への奉仕、リーダーシップ開発における連携が強化されました。この協定は、YMIとYMCA運動の共通のビジョンと永続的な関係を反映しており、世界中の他の地域や区にとって、協力関係の好例となるでしょう。

私は、カナダのフレデリクトンで開催された第75回マリタイム区大会に出席する機会に恵まれました。大会では、シドニーリバービューYサービスクラブ、セントジョンYサービスクラブ、シャーロットタウンYサービスクラブが、地域社会とワイズ運動への献身的な奉仕活動100年という素晴らしい節目を迎えたことを称えられ、特別表彰を受けました。

今回の大会で特に意義深かったのは、ワイズメンズクラブ国際協会に50年以上も忠実に献身的に奉仕してきた26名のクラブ会員が表彰されたことでした。彼らの生涯にわたる献身は、若い世代にとって力強いインスピレーションとなり、YMIの仲間意識の不朽の精神を体現しています。

6月に入り、インド各地で大会シーズンが活発に続いています。南中央インド区、北・東・北東インド区、南インド区、西インド区、南西インド区など、いくつかの区大会が予定されています。これらの集まりは、2026年6月28日に開催されるインド地域大会で最高潮に達し、全国から会員が集まり、親睦と共通の目的を共有します。日本では、東日本区大会が6月6日に石巻で、西日本区大会が6月13日に奈良で開催されます。台湾区大会は、6月6日～7日に台北で開催され、エドワード国際会長が出席します。デンマーク区大会は、6月13日～14日にヘアニングで開催されます。

今月も、強力なパートナーシップの構築において重要な月となりました。TOFが支援するプロジェクト、チェンジエージェント向けのAFS助成金、トロントで開催されるYMCA世界評議会へのYMIの参加など、さまざまな共同イニシアチブを通じて、世界YMCAとの連携は拡大を続けています。

ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク次期国際会長は、「ブルーミュージックで眠れる巨人をブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」を主題に、「YMI — 人生を力づける」をスローガンに掲げ、7月1日から国際会長の役割を引き継ぐ準備を進めています。2025/26年度を締めくくるにあたり、私たちは調和、思いやり、意義深い影響、そして力強い未来を特徴とする新しい期、楽観と自信を持って待ち望んでいます。



生涯にわたる奉仕 ヘンリー・D・グライムズ の遺産

デビー・レッドモンド 国際ヒストリアン

YMIのような組織に所属している方なら、会員活動にどれほどの時間と労力が必要かご存知でしょう。私たちの多くは、長年にわたり膨大な時間を費やしてきましたが、ヘンリー・グライムズに匹敵する人は、ほとんどいません。

ヘンリーは1923年11月12日にマサチューセッツ州ローレンス（ボストンのすぐ郊外）にクラブを設立し、YMCAとワイズ運動の両方に並外れた献身を示す道を歩み始めました。1924年には、初めてワイズの国際大会に出席しました。翌年、彼のクラブは、YMCAキャンプ場の修繕と増築を支援するために、わずか1週間で12,500ドル以上を集めました。彼はまた、地元のYMCAの理事会にも参加しました。1925年10月に、ヘンリーはアグネス・バレンタインと結婚し、新婚旅行中にワイズ国際大会に出席することにしました。同年、ヘンリーは国際書記長兼会計に選出されました。これは、アメリカン・ウーレン・カンパニーの繊維化学者としてのフルタイムの仕事と並行して行われたボランティアの役割でした。

YMIが年々成長するにつれ、国際書記と会計の職務と責任も増大していきました。ヘンリーは、妻の全面的な支援を受け、自宅の地下にある簡素な事務所で、しばしば夜間、週末、祝日を犠牲にして運動に尽力しました。やがて、彼らは事務業務に対するささやかな報酬を受け取るようになりました。彼らは、その資金を使って事務スタッフを雇い、自分たちは、無給で奉仕を続けました。

ヘンリーは、1925年から1955年まで毎年、国際書記兼会計に再選されました。仕事上の都合で転居を余儀なくされた際、ヘンリーは、早期退職を選び、初代国際書記長（ISG）の職を引き受けました。この職は、有給ではあったものの、保険や退職金は含まれていませんでした。この決断は、彼がYMIにどれほど深く献身していたかを明確に示しています。ヘンリーは1955年から1962年に亡くなるまでISGを務めました。

ヘンリーは、YMIに深く尽力する一方で、YMCAとの緊密な関係も決して失うことはありませんでした。彼は、ローレンスYMCAの会長、理事、評議員を務めたほか、マサチューセッツ州とロードアイランド州のYMCA会長、全米YMCA協議会、全米YMCA理事会、国際YMCA委員会のメンバーとしても活躍しました。YMCAとYMIへの長年の献身が認められ、彼は卓越した信徒指導者として表彰されました。

近年、彼の長年にわたる功績が正式に認められました。2026年9月、ヘンリー・D・グライムズは、YMCA殿堂入りを果たします。この栄誉は、YMIのヒストリアンである私が、YMCAとYMIへの彼の卓越した貢献がこの栄誉に値すると確信し、提出した要請によって実現しました。他にYMCA殿堂入りを果たしたYMIの人物は、彼の親友であったポール・ウィリアム・アレキサンダー判事ただ一人です。



Welcome Supper for Grimes in British Guiana

英領ギアナでの歓迎夕食会



ワイズメンズクラブ国際協会

2025/26年度年次レビュー

信念に根ざし、愛で結ばれ、行動を通して影響力を発揮する

2025/26年度は、ワイズメンズクラブ国際協会（YMI）にとって、回復力、成長、そしてグローバルな活動の再開という重要な時期となりました。国際会長の「信念、愛、行動」という主題に導かれ、「共に、より強く」というスローガンに支えられ、この運動は親睦、奉仕、リーダーシップ育成、そしてグローバルなパートナーシップを通じて、その影響力を拡大し続けました。各地域と各区において、クラブとリーダーは、協力して会員数を増やし、新しいプロジェクトを立ち上げ、YMCAとのパートナーシップを深め、世界中の人道的ニーズや地域社会のニーズに対応しましたが、同時にいくつかの特有の課題にも直面しました。中東での予期せぬ紛争は、この運動に大きな混乱をもたらし、特にドバイで開催予定だった国際大会の準備に影響を与えました。

今年最も喜ばしい成果の一つは、YMIが新たな国や地域へと拡大を続けていることです。世界中で合計93の新しいクラブが設立され、727人の新しいクラブ会員がYMIファミリーに加わりました。インド、韓国、アジア太平洋、米国の各地域では力強い成長が見られ、ミッション100と草の根レベルの発展への新たな取り組みが反映されています。アルメニア、ウクライナ、フランス、スペイン、アイルランドでも、新クラブ設立の取り組みとクラブ開発を通じて大きな進展があり、YMIのグローバルな活動における重要な節目となり、新たな文化的・地理的環境における親睦と奉仕の機会の構築に対する組織のコミットメントみが示されました。高齢化やその他の要因による会員数の減少の脅威は依然として非常に現実的ですが、新しいクラブの設立は、運動の未来に対する新たな楽観主義、リーダーシップのエネルギー、そして自信を反映しています。

日本の熊本で開催された代表者立法協議会（国際議会）は、組織にとって重要な振り返りと戦略的方向性の決定の場となりました。リーダーたちは「熊本宣言2025」を採択し、YMIの環境持続可能性への取り組みと国連の持続可能な開発目標（SDGs）との整合性を再確認しました。この宣言は、再生可能エネルギー、責任ある環境慣行、廃棄物管理、そしてよりクリーンで緑豊かな世界を支える持続可能な取り組みを強調しています。また、組織内のリーダーシップの説明責任、任命プロセス、紛争解決メカニズムを強化する重要な付則改正とガバナンスに関する決定も承認されました。国際選挙への参加は引き続き活発で、世界中のクラブや区における健全な民主主義への関与とコミットメントを反映しています。

今年の大きなハイライトは、2026年国際大会がアラブ首長国連邦のドバイからマレーシアのペナンへ円滑に移転したことでした。物流面や組織運営面での課題はありましたが、この移転は、世界中のメンバーから新たな熱意と強い支持を生み出しています。早期登録の勢いは依然として好調で、2026年国際大会への期待の高まりを反映しています。国際ユースコンボケーション（IYC）も国際大会と並行してペナンで開催され、世代を超えた交流とリーダーシップ育成のための重要な機会となります。インド出身のライアン・ジェームズが2026年から2028年の国際ユース代表に選出されたことは、YMIが若いリーダーの育成と運動における若者の参加強化に尽力していることを改めて示すものです。

YMIは、年間を通して、YMCA運動やその他のグローバルパートナーとの関係構築を継続しました。今後の重要な取り組みの一つとして、トロントで開催されるYMCA世界評議会への積極的な参加が挙げられます。YMIは、YMCAを通じて、世界中の人々やコミュニティのエンパワーメントに貢献する国際的な議論に積極的に参加します。また、リーダーシップ育成プログラム、教育事業、環境プロジェクト、地域奉仕活動などを通じて、YMCAパートナーとの連携も深めました。

今年特に意義深いパートナーシップとなったのは、YMIアレクサンダーサポート基金（ASF）が世界YMCAチェンジエージェントプログラムに提供した支援であり、平和構築、社会正義、持続可能な開発に尽力する若いリーダーたちの育成に貢献しています。

ロールバックマラリア（RBM）は、パートナーシップの拡大と新規プロジェクトの開始により、この1年間で大きな勢いを得ました。カメルーンにおける新たなマラリア対策プロジェクトの導入は大きな節目となり、インドとザンビアにおけるRBM事業のさらなる展開に向けた準備も進められました。これらのプロジェクトは、脆弱なコミュニティを保護し、マラリアの影響を受けている地域での公衆衛生対策を支援するというYMIの継続的な取り組みを反映したものです。また、YMIは、人道支援ニーズへの対応を継続し、ジャマイカやガザ地区に関連する連帯イニシアチブなど、危機的状況の影響を受けたコミュニティへの支援も行いました。

タイム・オブ・ファスト（TOF）プログラムも、2025/26年度に著しい成長を遂げ、認知度が再び高まりました。アフリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋、インド、米国地域で10件の新たなTOFプロジェクトが承認され、医療、教育、女性のエンパワーメント、青少年育成、社会福祉に重点が置かれました。選定されたプロジェクトは、ケニアのキツイ郡にあるムランゴ保健センターでの新生児ユニット建設、脆弱な農村コミュニティにおける母子保健の強化、地域に根ざした食料生産と流通を通じて子どもや家族の飢餓を軽減するノースカロライナ州のシェアザハーベストファーム・プロジェクトなど、世界規模での奉仕に対する私たちの共通の関与の幅広さを示しました。専用のTOFキャンペーンの導入により、認知度と寄付がさらに高まり、プログラムに新たな勢いが生まれ、世界中のクラブや区からのより積極的な参加が促されました。

コミュニケーションと親睦は、この1年間を通して運動の中心であり続けました。月刊誌「YMIワールド」は、ストーリー、最新情報、共有体験を通して国際的なコミュニケーションを強化し、世界中の会員をつなぎました。国際兄弟クラブ（IBC）の関係は勢いを増し、異なる国のクラブ間の友情、文化理解、そして世界的な親睦を深めました。BF訪問、地域大会、クラブ創立100周年記念行事、リーダーシップ研修などの取り組みは、組織全体の結束をさらに強固なものにしました。また、環境の持続可能性も、カーボンオフセット活動、太陽光発電プロジェクト、インドにおける環境に配慮したYMCAコミュニティプログラムなどを通じて、ますます重要な焦点分野として浮上しました。

多くの成果があった一方で、今年は重要な課題も浮き彫りになりました。一部の地域における会員数の減少、国際プログラムへの献金の減少、一部の地域におけるiMIS会員制度の導入への消極的な姿勢、そして一部の地域組織に関する懸念は、継続的な注意と集団的なリーダーシップを必要とします。しかしながら、この運動は、楽観と決意をもって新年度を迎えます。ペナンで開催される国際大会とIYC、バリ島でのRDEサミット、リーダーシップ育成イニシアチブ、新たなパートナーシップ、そして地域強化プログラムの準備は、いずれも刷新と成長のための大きな機会となりました。

2025/26年度は、YMIが引き続き強靱で進化し続けるグローバルなムーブメントであることを示しました。新たなクラブの成長、パートナーシップの拡大、若者の参加促進、人道支援活動、環境責任、そして親睦への新たな取り組みを通して、YMIは揺るぎない価値観に根ざしながらも、適応力を発揮してきました。組織が前進するにあたり、その使命は明確です。愛をもって導き、信念をもって行動し、意義ある活動を通して奉仕することです。クラブメンバーの連帯と共通の使命への献身を通して、YMIは、より強固なコミュニティ、より強固なパートナーシップ、そして未来の世代のためのより強固な未来を築き続けています。



ブルー・ミュージック

YMIの2026/27年ビジョン

ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク 次期国際会長

序奏

2024年、チェンマイで開催されたYMI国際大会で、私は、基調講演を行うという光栄な機会に恵まれました。当時は、後にこの偉大な運動の国際会長に選出されるとは夢にも思っていませんでした。講演では、変化、想像力、包容力、自由、そして希望を力強く象徴する「ブルーミュージック」について語りました。2026/27年の私たちのビジョンは、このブルーミュージックからインスピレーションを得ています。

YMIを定義するものは何か？

私たちの善行、共感、親切、愛、そして見返りを求めない与える行為こそが、私たちの運動を特徴づけるものです。

これこそ世界が最も必要としているものです。
これこそが、暴君が最も恐れるものなのです。
これは、地球上で最も偉大な善の力です。

マハトマ・ガンジーは、善意のみを武器に帝国に立ち向かいました。マーティン・ルーサー・キング・ジュニアは、平和と道徳的勇気をもって不正義に立ち向かいました。ネルソン・マンデラは、正義と揺るぎない決意をもってアパルトヘイトを克服しました。

歴史は、善こそ力であることを私たちに教えてくれます。人類は、行動する善を切実に必要としています。これこそが、私たちを前進させる原動力なのです。

国際会長主題：ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる

YMIそのものが巨人です。クラブ、人々、経験、知恵、歴史、世界的な活動範囲、そして道徳的な強さ。この巨人は、力強い存在です。しかし、あまりにも頻繁に、それは眠っています。それは弱さからではなく、私たちの中に宿る善の力、そして仲間との交流と奉仕を通して世界にもたらすことができる変化を忘れてしまうからです。

2026/27年度には、すべてのクラブとすべてのクラブ会員を覚醒させるよう求められています。

力づくではなく
権威をもってではなく
しかし、ブルーミュージックで

ブルーミュージックは、人類の永遠の音楽——愛、ユーモア、共感、勇気、創造性、自由、そして思いやりです。それは、人々が支配や恐怖ではなく、友情と希望を求めて集まったキャンプファイヤーの周りで生まれた音楽。それは、自らの運命を選ぶ自由そのものなのです！

それは、対立、支配、停滞、分裂といった、グレイミュージックとは対照的です。

ブルーミュージックは再生をもたらします。
ブルーミュージックは喜びをもたらします。
ブルーミュージックは生命力をもたらします。

それがなければ、組織は硬直化します。
それによって、彼らは繁栄します。

ブルーミュージックは、YMIにとって単なる哲学ではなく、中核となる価値観に基づいた生き方そのものです。それは、喜びにあふれた仲間意識、包摂的なリーダーシップ、創造的な奉仕活動、世代を超えた交流、そして勇気ある思いやりを行動で示すことを意味します。

AIの時代において、YMIは、ブルーミュージックの力を活用し、人々のつながり、心の健康、そして世界的な連帯を促進します。

ブルーミュージックは、各クラブが何が必要か、何をするか、そして私たちの共通の使命を支援するためにどのように行動するかを自由に決定できる権利を与えています。

国際会長スローガン：YMI – 人生を力づける

人生を豊かにするとは、すべての人の中に価値を見出すこと、特に世間が弱点とみなすところにこそ価値を見出すことです。

それは、単なる慈善ではなく友情を、憐れみではなく尊厳を、同情ではなく機会を提供するということです。

それは、有意義な交流と奉仕活動を通して、あらゆる世代の孤独感に対処することを意味します。

それは、若者も高齢者も、充実した人生を送り、自信を持って貢献し、目的意識を持って奉仕できるようにすることを意味します。

YMIのリーダーおよびメンバーである皆さんは、単なる組織の管理者ではなく、ブルーミュージックの指揮者なのです。

クラブの成長を促すようなリズムを生み出しましょう。
会員が喜びをもって奉仕するよう促しましょう。
地域社会が希望を感じられるようにしましょう。

YMIが、善行を行い、愛を広めることで人々の生活を豊かにする運動として、世界中に知られるようになることを願います。

2026/27年の目標：ブルーミュージックの実践

次期地域会長および次期区理事と合意した会員数増加、新規クラブ設立、新規国進出、プログラムへの献金増に関する数値目標に加え、世界中のクラブに対し、以下の6つの主要な行動分野に注力するよう呼びかけます。

1. 変化のためのブルーミュージック・キャンプファイヤーを開催する

キャンプファイヤーは人々を結びつけ、温かさ、繋がり、そして共同体意識を、シンプルで心地よい方法で生み出します。ブルーミュージックは、クラブメンバーの間で変化を促すよう私たちを鼓舞します。

- クラブレベルで、年間を通して少なくとも1回は「ブルーミュージック・キャンプファイヤー」を開催してください。
- これらの集まりを通して、少なくとも2名の新メンバーを迎えてください。
- ストーリーテリング、創造性、そして新しいサービスアイデアのための空間を創造してください。
- クラブの刷新と将来ビジョンについて、率直な対話を促進してください。

キャンプファイヤーイベントの思い出話や写真を国際本部と共有してください。あなたの素敵なエピソードは世界中で共有され、クラブの創造的な活動は、国際的に認められるでしょう。

2. 孤独に立ち向かう：加齢を強みとして捉え直す

私たちは、高齢化が進む世界に生きています。社会には高齢者が増え続けており、多くの人が孤独を感じています。ブルーミュージックは、これをチャンスと捉えるよう私たちに促します。

- 高齢者をクラブの活動的なメンバーとして勧誘します。
- 高齢者のための親睦、リーダーシップの機会、そして意義のある奉仕活動を促進します。
- 加齢を、強さ、知恵、経験の源として捉え直し、祝福します。
- 世代を超えて人々が集う、包括的な空間を創造します。

年間を通じて少なくとも3人の新規会員を獲得したクラブ会員には、国際会長からブルーミュージックブースター賞が授与されます。6人の新規会員を獲得したクラブは、ブルーミュージックブースタークラブとして認定されます。

3. 廃棄物を削減し、持続可能性を促進する

YMIは長年にわたり、廃棄物削減と持続可能性の推進に取り組んできました。ブルーミュージックは、未来の世代のために地球を守るための行動をさらに強化するよう私たちに呼びかけています。

- 中古品店を強化・促進し、リサイクル製品を購入することをライフスタイルとして定着させる文化を奨励します。
- クラブ、部レベルで、地域清掃キャンペーンを100件企画・実施します。
- ボランティアチームの育成と一般市民の参加促進を通じて、環境への影響力を拡大します。

あなたの素敵な体験談を国際本部と共有して、ブルーミュージック・サステナビリティ・アワードにノミネートされましょう。

4. マラリアと闘い、国際プログラムを支援する

マラリアは、毎年何百万人も命を奪い続けています。YMIは、パートナー団体と共にこの恐ろしい病気と闘ってきました。しかし、ロールバックマラリア（RBM）をはじめ、アレキサンダーサポート基金（ASF）、タイム・オブ・ファスト（TOF）、ビルディング・フェロウシップ（BF）といった国際プログラムへの献金は、近年減少傾向にあります。ブルーミュージックは、この傾向を覆すべく、私たちに次のようなインスピレーションを与えてくれます。

- RBMおよびその他すべての国際プログラム（ASF、BF、TOFなど）のための献金を増やします。
- 区事業主任、地域事業主任向けに、オンラインでの資金調達トレーニングを提供します。
- 国際的なプロジェクトやプログラムのための区での資金調達キャンペーンを企画・運営します。
- 資金調達における成果を認め、称えます。

国際プログラムのための献金目標を達成した区には、国際会長からブルーミュージック資金調達賞が授与されます。

5. YMCAとの連携を強化する

YMIは、YMCAへの奉仕団体として設立され、私たちは1世紀以上にわたり共に歩んできました。社会への影響力を高め、私たちの活動をさらに発展させるためには、変化する時代においても、私たちの協力モデルが常に時代に即したものである必要があります。ブルーミュージックは、YMIとYMCAの協力関係を強化するためのインスピレーションを与えてくれます。

- 世界中のYMIクラブとYMCAが共同で主導する100の地域貢献活動を実施します。
- YMCAとYMIのリーダー間で、少なくとも20回の正式な区レベルの協議を開催し、協力関係を深め、両運動を強化するダイナミックで互恵的な関係を育みます。
- YMIとYMCAのパートナーシップを促進・強化するための、的を絞ったコミュニケーションを推進します。
- 共同奉仕プロジェクトや地域社会への貢献活動を促進します。

クラブ、区、地域レベルにおけるYMIとYMCAの最も優れた連携は、国際的に表彰されます。

6. 地域社会への奉仕活動を拡大する

地域社会への奉仕は、すべてのクラブ会員の心と精神の根幹を成すものです。

どのコミュニティにもそれぞれ固有のニーズがあり、私たちは、思いやりと献身、そして行動をもってそれに応える責任があります。ブルーミュージックは、より多くの人々に手を差し伸べ、希望を分かち合い、私たちを結びつける絆を強めることで、地域社会への奉仕活動を拡大し、永続的な影響を生み出すよう私たちを鼓舞します。

- クラブレベルで地域社会への貢献活動を1,000件達成します。
- 若者や世代を超えた地域活動への参加を促進します。
- すべての奉仕活動が、「善意による行動」の真の精神を反映していることを確実にします。

あなたのストーリーを国際本部と共有してください。YMIは、クラブ、部、または区による最も影響力のある地域社会への貢献を表彰する「ブルーミュージック・CS賞」を授与します。

私たちは力を合わせることで、善意の力を活用し、あらゆる世代にとって活気に満ちた、意義深く、刺激的な運動を創り上げることができます。

眠れる巨人を目覚めさせましょう。
さあ、調和のとれたブルーミュージックを奏でましょう。
共に、人生を豊かにしましょう。

共通の使命に対する感謝と確信を込めて。

YMIとYMCA

ミッションにおけるパートナー

フィリップス・K・チェリアン YMIから世界YMCA同盟へのリエゾン (YL)



YMIは、設立以来、YMCAとその使命を支援することに尽力してきました。YMCAもまた、YMIとその世界各地のクラブの成長と発展を奨励してきました。両組織は、独立して運営されていますが、地域社会に貢献し、世界中の人々の生活を変革するという共通のビジョンを共有しています。YMCAとYMIの組織構造や運営モデルは、各国の状況や地域社会のニーズを反映して国ごとに異なる場合があります。しかし、こうした違いが両組織の共通の目的を損なうことは決してありません。

YMI ヨーロッパ地域とヨーロッパYMCA同盟がヨーロッパYMCA大会において覚書に署名

むしろ、YMIとYMCAの組織構造、リーダーシップモデル、会員構成は、互いに補完し合い、世界中のコミュニティにおける両者の共同の影響力を強化しています。あらゆるレベルにおいて、YMIのリエゾンは、このパートナーシップの構築と強化に重要な役割を果たしています。歴史的に、共同コミュニティプロジェクトは、両組織間の協力の基盤となってきました。しかし、時が経つにつれ、一部の地域ではコミュニケーションと協力活動が衰退し、関与の低下や時折の誤解が生じました。こうした課題にもかかわらず、パートナーシップは世界の多くの地域で繁栄し続けています。前年度には、選定されたTOFプロジェクトの50%がYMCA主導で、残りの大多数も何らかの形でYMCAが関与していました。さらに、RBMプロジェクトは、カメルーン、ザンビア、インドなどの国々でYMCAパートナーと共同で実施されています。近年、いくつかのYMCA施設にソーラーパネルを設置するなど、環境持続可能性への取り組みも確立されています。YMIは、世界YMCAチェンジエージェントプログラムへの支援にも引き続き取り組んでいます。

近年、新たな熱意とより強力なリーダーシップの関与により、YMIとYMCAの関係は活性化しています。トップリーダー間の親睦と協力は、草の根レベルでの連携に良い影響を与え、クラブ、部、区、地域が地元のYMCAとの連携を強化するよう促しています。この新たなパートナーシップは、より緊密な関係、リソースの共有、そして地域社会へのサービスの向上につながっています。組織間の協力強化においても、重要な成果が達成されました。ヨーロッパYMCAとYMIヨーロッパ地域は、ヨーロッパYMCA大会において、パートナーシップへのコミットメントを再確認する議定書と覚書に署名しました。同様に、インドYMCAインドとYMIインド地域の間にも強力な協力関係が築かれ、YMCAの施設とサービスがワイズの活動やプログラムを積極的に支援しています。



カナダ、フレデリクトンYMCAによる、クラブの貢献を称える表彰

今後、あらゆるレベルのリーダーは、YMCAの運営に対する理解を深め、オープンなコミュニケーションと協力を促進することが奨励されます。また、YMIの年度初めには、リーダーは、YMIとYMCA間のパートナーシップ原則を承認することが奨励されています。この年次活動は、共同の地域イニシアチブを計画し、関係を強化するための貴重な枠組みとなります。YMIとYMCAの100年にわたるパートナーシップは、共通の使命と相互奉仕の力強い模範であり続けています。新たな決意と団結をもって協力することで、両組織は、世界中の地域社会に意義深い変化をもたらし続けることができるでしょう。

アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者

カウンセリングサービスによる心の癒し

2026年2月以来、ミャンマーのネピドーYMCAは、アジア太平洋地域自然災害緊急支援基金の支援を受け、地域密着型のカウンセリング事業を主導しています。このプログラムは、ピインマナ、レウエ、タツコン、ゼヤティリの各地域で深刻な心理社会的ニーズに対応しており、住民の地震、洪水、そしてより広範な経済的・政治的圧力による長期的な影響に引き続き対処しています。参加者からは、セッションは、悲しみを表現し、個人的な経験を共有し、信頼関係を築くための安全で体系的な場を提供してくれたとの声が寄せられています。多くの人が、苦難の中で自分は一人ではないと気づくことの価値を語っています。若い参加者は、話し合いを通して相互の共感が育まれ、コミュニティの絆が強まったことを強調しています。また、カウンセリングは、障がい、家族の離別、災害による喪失など、トラウマや困難の後、内なる回復力を再構築するのに役立つと述べ、物質的な支援に加えて、感情的・心理的なサポートの重要性を強調する人もいます。全体として、この取り組みは、被災したコミュニティにおける対処メカニズムを強化し、連帯感を育んでいます。



熊本地震支援活動を覚えて

2016年4月、日本の熊本地方は4月14日にマグニチュード6.5の前震、16日にマグニチュード7.3の本震に見舞われ、甚大な被害を受け、278人が死亡（災害関連死を含む）、約20万6千戸の家屋が損壊しました。犠牲者を最小限に抑える上で重要な役割を果たしたのが熊本YMCAの対応であり、同YMCAは、最も被害の大きかった益城町の体育館を避難所として開放しました。この活動は、極めて困難を極めましたが、YMCAのスタッフは、YMIクラブのメンバーの全面的な支援を受けながら、公的機関、ボランティア、被災者間の情報調整にあたり、睡眠や十分な食事ままならない中で、休むことなく尽力しました。本年5月12日には、熊本ワイズメンズクラブと熊本ジェーンズワイズメンズクラブの合同追悼会が開催されました。会員やビジターを含む70名が出席し、木村敬熊本県知事による基調講演に熱心に耳を傾けました。講演では、YMCAとYMIが提供したサービスへの賛辞が述べられました。



クラブ設立記念式典

2026年5月10日に行われたメルボルンワイズメン&ウィメンズクラブのチャーター式典は、オーストラリア区にとって活気に満ちた節目となり、50名を超える会員、リーダー、家族、友人が親睦と祝賀の精神のもとに集まりました。クラブ会長のジョビー・ジョセフは、参加者を歓迎し、親睦を重視し、地域社会への奉仕に尽力するクラブのビジョンを共有しました。一方、ジュネーブからオンラインで参加したジョース・ヴァルギース国際書記長は、刷新、献身、そして共同責任を呼びかけ、新クラブが地域における希望と行動の灯台となるよう激励する感動的な基調講演を行いました。区理事一のセバスチャン・マシューが会員の入会式と役員就任式を執り行い、書記のアントニー・ヴァルギース、副会長のギルズ・マシュー、会計のギジョ・ジョースをはじめとするクラブリーダーがこれをサポートしました。

この式典は、エルドース・クリヤコセ部長とインド中西部地域からのライジュ・フィリップ副理事の出席と祝辞により、より一層意義深いものとなりました。夜は、文化的なパフォーマンス、活気あふれる交流、そして家族同士の触れ合いで締めくくられ、地域の未来への新たな希望と、国境を越えた支援への感謝の念が強く感じられました。

南オーストラリアYMCAにとっての節目

1850年に設立されたアデレードYMCAは、ヨーロッパ以外で最初に設立されたYMCAです。現在、南オーストラリアYMCAは、1,300人のスタッフに支えられ、70か所の拠点で年間約250万人の利用者にサービスを提供しています。体操、キャンプ、ボランティアプログラムで長年知られてきましたが、放課後児童クラブ、医療関連サービス、脆弱なグループやリスクのあるグループへの支援など、変化する地域社会のニーズに応えるために活動内容が進化してきました。ユース議会は、毎年100人以上の若者が市民教育に参加する主要プログラムであり、アデレードYサービスクラブが参加者に財政支援を提供しています。最近の175周年記念行事には、国際的なYMCAリーダーであるデビッド・ニューマン（オハイオ州・カントリーサイドYMCA）、ジョー・シュムッツ（ドイツ・ミュンヘンYMCA）、ティム・ロバーツ（英国・ワンYMCA）が地元のスタッフや関係者とともに参加しました。「YMCAの使命と起源ワークショップ」、総督官邸でのレセプション、特別ディナーなどが含まれていました。YMCAは、南オーストラリア州の地域社会への長年にわたる貢献に対し敬意を表され、CEOのデビッド・パターソンとそのチームは称賛され、今後も卓越した活動を続けるよう激励されました。



カナダ/カリブ海諸国地域ニュース

ジョウン・ウィルソン 元国際会長

ビッグクック

オタワYサービスクラブは、5月9日にデイブとマージ・ホール夫妻の自宅で毎年恒例の「ビッグクック」イベントを開催しました。クラブ会員7名が集まり、ダウンタウンの社会支援団体であるハイジックスのために、マフィン、チリ、スパゲッティを調理する充実した午前を過ごしました。

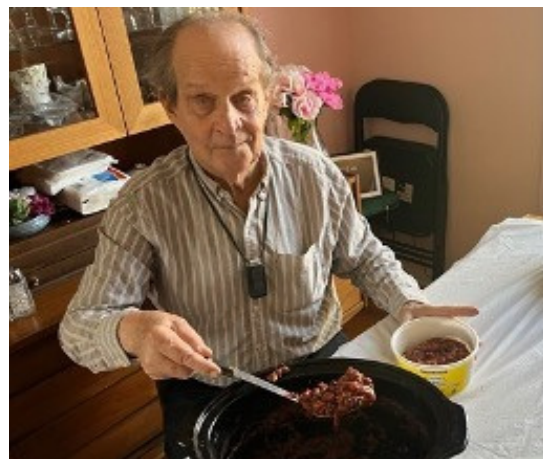
オタワクラブは、継続的な奉仕活動を通じてハイジックスと緊密に連携しています。クラブ会員は、毎週火曜日に交代で60個のサンドイッチを準備し、食事を必要とするハイジックスの近隣住民に配布しています。

同クラブは、以前YMIワールドで紹介された「バックパックプロジェクト」を通じて、ハイジックスを支援してきました。この取り組みにより、25個以上のバックパックに洗面用具、防寒着、少量の食料品、その他の必需品が詰められ、寒い冬の時期に配布されました。

「ビッグクック」事業は、チリまたはスパゲッティの冷凍ファミリーサイズ容器と焼き菓子定期的に提供することで、ハイジックスが食糧不安を抱える人々への支援を拡大するのを助けています。今年のセッションでは、メンバーは、マフィン14ダースと、チリとスパゲッティのファミリーサイズ容器20個をわずか2時間で作り上げました。これは、素晴らしい成果であり、少人数でも協力すれば、目覚ましい成果を上げられることを改めて示しています。



ジェニファーがマフィンを混ぜている



デニス容器にチリを詰めている



マージが掃除をしている



ブレンダ会長がスパゲッティを混ぜている



ジョウンがスパゲッティ用のパスタを茹でている



キャシー理事がコンテナを仕分けしている

ようこそウクライナクラブ

デンマーク地域が支援するウクライナYサービスクラブが、YMIの最新メンバーの一つとなりました。記念すべき出来事として、同クラブは、16名のメンバーで無事に設立されました。ハイブリッド形式で行われた設立式典には、世界中から50名以上のリーダーとメンバーが集まりました。ウクライナYMCAからのヴィクトル・セルブロフクラブ会長の主導のもと、同クラブは、意義ある奉仕活動のための明確なビジョンを提示しました。デンマーク区理事のクリスティアン・ヘルムズは、ウクライナ/ロシア戦争の影響が続く中で敬意と願いを表明し、温かい歓迎の言葉を述べ、戦争の影響を受けた人々への連帯、団結、支援の重要性を強調しました。



コソボでの31名の参加者

2026年5月2日（土）、西バルカン部第4回部大会がコソボのジャコヴァにあるホテル・ハッピーで開催されました。西バルカン部は、アルバニアとコソボで構成されています。ジャコヴァにはコソボ唯一のワイズメンズクラブがあり、アルバニアには現在ティラナに2つのクラブがあります。

この会議には、中央・東ヨーロッパ（CEE）委員会のヘンリック・イエッペセン委員長と、デンマーク出身のヴィリー・モエルガード前地域会長を含む31名が参加しました。ヘンリック委員長は、デンマークおよび世界におけるYMIの最新情報を共有しました。3つのクラブは、それぞれの活動について報告し、定期的な地域社会との関わりを強調しました。コソボのジャコヴァ・ワイズメンズクラブは、毎週の活動と隔週の会合に加え、新しいクラブの設立を支援するために他の都市への訪問活動を行っています。

ティラナ・ワイズメンズクラブは、高齢のクラブ会員が参加するソーシャルコミュニケーションセンターでの活動について報告しました。アルバニアのイーグルワイズメン&ウィメンズクラブは、メリタ・メコ次期部長とともに、アルバニア南部に新たなクラブを設立するべく尽力しているという、勇気づけられる進展の報告がありました。



ノルウェーでの50周年記念

オステンスタッド・ワイズメンズクラブは先日、オステンスタッド教会で記念集会を開催し、創立50周年を祝いました。1976年5月21日に設立された同クラブは、地元の教会、ノルウェーYMCA、そしてワイズメンズクラブ国際協会と緊密な関係を維持してきました。

同クラブは、50年以上にわたり、毎年恒例のフリーマーケットなどの募金活動を通じて青少年を積極的に支援するとともに、ノルウェーYMCAや国際的なワイズプログラム、特にTOFにも貢献してきました。



クラブの50年の歴史を記念した冊子が、祝賀会で発行されました。このイベントでは、レーネ・コンラディアスケル市長やノルウェー区、ヨーロッパ地域の代表者など、市民やYMIのリーダーからの祝辞、地元の教会グループによる音楽演奏も行われました。長年の会員であるクヌート・モーゲダルとペル・トリグヴェ・ノルマンには、献身的な活動に対してノルウェー区名誉バッジが授与されました。ゲストの中には、1976年のチャーターメンバーであるクヌート・モーゲダルとアトレ・エイムイエレンもいました。

現在、このクラブには約50名の会員がいます。また、故アーヴィッド・マルメ（1992/93年）とヘンリー・グラインドハイム（2017/18年）という2名のYMI国際会長を輩出したことでも知られています。

ルーマニア部部大会



2026年5月8日から10日にかけて、ルーマニア部の大会がシギショアラの美しい地で開催され、会員や友人たちが3日間にわたり友情、協力、そして共通の目的のために集まりました。ブラショフ、ビストリツァ、メディアシュ、シギショアラからの参加者に加え、キシナウとヴァイレからのYMIゲストも「Casa cu prispă」で温かく迎えられ、喜びと好奇心に満ちた雰囲気大会全体を通して漂いました。大会は、シギショアラとその城塞の紹介で幕を開け、城塞のドラマーによる挨拶の後、ルーマニア部の各クラブによるプレゼンテーションが行われました。参加者はまた、クリスチャン・シギショアラ・ワイズメンズクラブが支援する受益者の一人であるサビーナ・ガルの作品を展示した小規模な展示会も楽しみました。

ハイライトは、クラブ最年少の新メンバーであるアディナ・マナセの歓迎と、クラブが支援する才能ある学生、エヴェリンによる感動的なピアノ演奏でした。その後も、食事、音楽、ダンスを通して親睦を深め、日曜日には聖ディミトリエ修道院を訪れ、シギショアラの街を散策して締めくくりました。いつものように、この大会は、地域社会への奉仕こそが時間とエネルギーの最良の使い方であることを皆に改めて認識させてくれました。

インド地域ニュース

ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者

中央トラヴァンコール区



クラブ設立

新たに設立されたカラトゥカダヴ・ワイズメンズクラブは、次々期国際会長、V・S・ラダクリシュナンによって入会式が行われました。

SALTトレーニングプログラム

中央トラバンコール区は、6月10日にパンダラム町のワイズメンズクラブホールで、C-TRAIN傘下のSALTトレーニングプログラムの第2フェーズを実施しました。第1フェーズで資格を取得した15名のトレーナーが参加しました。プログラムは、次期地域会長のマメン・オメンとLTOD地域事業主任のA・K・シュリハリによって開始されました。資格を取得したすべてのトレーナーに証明書とバッジが授与されました。



中東区



バドミントントーナメント

中東区（MER）は、2026年4月19日にシャルジャのXTRAスポーツバドミントンアリーナでMERバドミントントーナメント2025-26を開催しました。約70チームが参加し、130試合が行われ、大会を通して親睦とスポーツマンシップが育まれました。ドバイワイズメンズクラブが優勝しました。このトーナメントは、区理事のプラティープ・ジョンが主導し、スポーツ区事業主任のヴィノード・サイモンが調整役を務め、MERのリーダーやボランティアの協力のもと運営されました。

インド中西区

老人ホーム訪問

ポタニカドダイヤモンド・ワイズメンズクラブのメンバーは、ビジュ・V・S部長とともにカヴァッカドの老人ホームを訪問し、奉仕活動や地域社会への貢献活動の一環として、慈善資金と文房具を寄贈しました。



医療キャンプとメンタルヘルス事業

グリーンシティ・マジジュヴァンヌール・ワイズメンズクラブのメンバーは、奉仕活動の一環として、地域社会で無料医療キャンプを実施しました。地域住民を対象に無料健康診断が行われ、患者には継続的な治療と適切なケアを確保するために無料の医薬品も提供されました。

ジノイ・ヴァルギースクラブ会長が率いるクラブメンバーは、精神障がい者のための施設であるベサニー・スネハラヤムを訪問しました。彼らは、入居者の日々の生活を支えるため、資金、文房具、その他の必需品を寄付しました。



インド北、東、北東区



ランキキャピタル・ワイズメンクラブは、ランキ東ライオンズクラブと協力し、2025年5月18日にオリオンズ・アドベンティスト教育学校で、赤外線技術を搭載した最新のプラスオプティクス・ビジョンスクリーナーを用いて、約300名の生徒を対象とした眼科検診キャンプを開催しました。クラブ会員は積極的にこの取り組みに参加し、特にラム・クリシュナ・ジーとニルマル・ティグガには、準備の調整への尽力に感謝の意を表しました。また、クラブは、子供たちの福祉のために献身的に尽力した医師や検眼医の方々にも感謝の意を表しました。

南インド区

キッズヨガパーティー

ヴィルドゥナガル・ワイズメンズクラブ1969は、キッズヨガフェスティバルを開催し、約60名の生徒が熱心に参加し、様々なヨガのポーズを披露しました。このイベントは、子供たちの体力向上、規律、健康的な生活習慣の促進に成功し、幼い頃からバランスの取れた健康的なライフスタイルを身につけるよう促しました。



医療施設への支援

D・G・ブダール・ワイズメンズクラブとワイズメネットワーククラブは、K・N・パラヤム村のアーランバ・スガタラ・ニラヤマウにおいて、患者と医療施設のためにシーツと枕を寄贈するという意義深い奉仕活動を共同で実施しました。この崇高な取り組みは、尊敬される元部長でありクラブの指導者でもあるS・ジェヤスラが主導し、両クラブの思いやりのある奉仕と地域社会への貢献に対する継続的な取り組みを反映しています。

南中央インド区

アンナダナム・プロジェクト

ヴィルドゥナガル・ワイズメンズクラブとヴィルドゥナガル・ワイズメネットワーククラブは、2026年4月10日、マリアンマン寺院のパングニ・ポンガル祭の期間中に、アンナダナム・プロジェクトを共同で実施しました。約1,800食分の食料パックが一般市民に配布され、真の奉仕と地域社会への配慮の精神が示されました。



南西インド区



TOFデーイベント

南西インド区では、トリバンドラムのプレスクラブホールでTOFデーと募金活動が開催されました。このイベントでは、スハイブ・モウラヴィ、ソニー・テッケカラ、スワミ・アスワティ・ティルナルが主導する異宗教間サミットも行われ、宗教の垣根を越えた普遍的な兄弟愛、思いやり、そして団結のメッセージが伝えられました。

西インド区

クラブ設立

キーズパリー・ワイズメンズクラブのスポンサーによるアララム・ワイズメンズクラブのチャーター式典は、27名の活気に満ちた若者たちの熱意あふれる参加により、誇り高く感動的な幕開けとなりました。このイベントは、第4部の若者たちの間に存在する真のリーダーシップ、団結、友情、そして地域社会への奉仕の精神を反映しており、ダイナミックで奉仕精神にあふれた活動への道を開くものとなりました。



道路の安全

アラコデ・ワイズメンズクラブは、道路の交差点に凸面交通ミラーを設置する活動を計画しており、これにより、自動車運転者と歩行者の両方にとって視認性が向上し、道路の安全性が高まることが期待されます。

クラブ役員研修

クラブ役員を対象とした1日研修プログラムがカンヌールで開催され、T・M・ジョースによって開会式が行われました。フランシス・P・S、マシュー・ヴァットス、ジョンソン・パディンジャス、そしてモチベーションスピーカーのビジュ・マシューが講師を務めました。このプログラムは、参加したすべての役員にとって有益かつ刺激的なものとなりました。



韓国地域ニュース

チョン・ギョンジュ 韓国地域ニュース編集者

韓国地域

ナイジェリア出身のBF代表が韓国を訪問

ナイジェリアのBF代表であり、ラゴスクラブ会長のケヒンデ・アデオエが、5月6日から19日にかけて、韓国地域の8つの区を訪問しました。韓国各地の区理事やメンバーの支援を受け、アデオエは、区大会や就任式に出席し、クラブや地元のYMCAを訪問し、歴史的・文化的遺産を巡り、ワイズメンの家族宅でのホームステイを楽しみました。

彼は、韓国地域のメンバーに対し、今回の訪問を「素晴らしい」、「忘れられない経験」と述べ、心からの感謝の意を繰り返し表明しました。BF地域事業主任で元理事のリム・ハンタエが、ビザの手配と全体の日程調整を担当しました。特別な記念品として、彼はアデオエに訪問のハイライトを収めた写真アルバムとUSBメモリを贈呈しました。



韓国プウルギョン区



イ・ヨンギル会長率いるブサンセントラル・ワイズメンズクラブは、4月27日、ブサンのルイスハウスで月例会を開催し、キム・ボンヒ元国際会長のYMI入会50周年を祝いました。キム元国際会長は、1997年から1998年にかけて第72代国際会長を務め、現在も韓国エリアで活発かつ尊敬を集めるリーダーとして活躍しています。彼の生涯にわたる献身と模範的な奉仕は、韓国地域全体のワイズメンのリーダーたちにインスピレーションを与え続けています。

区大会

4月は伝統的に韓国地域全体で区大会が開催される主要な月であり、多くの区ではこれらの大会を、成果の祝賀や親睦を深める場としてだけでなく、新任指導者への引き継ぎ式や就任式を行う場としても活用しています。最近、いくつかの区では、多くの参加者と意義深いプログラムで大会が開催されました。

韓国チュンボク区

第67回区大会が4月25日にスンチャンで開催され、6つの部から約400名の会員が参加しました。区大会は、運動を新たな地域に拡大する取り組みの一環として、現在YMIクラブが存在しないスンチャンを意図的に開催地として選定した。



韓国テグ・キョンサンブクト区

5月17日、会員たちはテグに集まり、退任するキム・デヒ区理事が1年間の献身的な奉仕を振り返り、新任のイ・ミョンギル区理事が新たな団結と親睦に向けたビジョンを発表しました。



韓国キョンギド区

5月7日、スウォン市でリーダーシップ交代式を執り行い、YMIのリーダー、クラブメンバー、そしてナイジェリア出身のBF代表ケヒンデ・アデオエが出席しました。新任の理事のチュ・イホは、国際的な連帯、奉仕、そして地域社会との協力の重要性を強調しました。

韓国チョンナム区

5月2日、モクポにて第67回区大会が開催され、文化公演、基調講演、そして会員同士が一年間の歩みを振り返る交流会が行われました。続いて5月9日、ポソンにて、次期区理事キム・ジェジュンの就任式が行われ、約400名が参加しました。



韓国南区

5月15日には区理事の就任式と送別式が催され、退任するイ・キム・ヨンス区理事は、会員数の増加とクラブの活性化に向けた取り組みを強調し、新任のパク・ジョンホン区理事一は、区全体でより若く活気のあるクラブを構築するための計画を概説しました。



一方、韓国インチョン区は、干潟の保全や海洋清掃活動に積極的に参加することで、環境保全への取り組みを示し、地域社会内外への奉仕に対する区共通の献身を強化しました。

韓国インチョン区

イ・ガンイン区理事率いる韓国インチョン区は、インチョン（仁川）干潟を世界自然文化遺産に登録するための取り組みを積極的に支援しています。4月16日、関係者らはヨンピョン島を訪れ、海洋ゴミの回収と干潟の現状を肌で感じました。インチョン干潟は、世界で4番目に大きい干潟として知られています。インチョンには68の有人島と無人島があり、その自然の美しさで有名ですが、深刻な海洋汚染問題に直面しています。ヨンピョン島周辺の海域は、中国や北朝鮮からのゴミや波に打ち上げられた漁具などでひどく汚染されていることが判明しました。干潟全体の汚染も深刻でした。

区のメンバーは、将来の世代のためにインチョンの海と干潟を守るため、「育てよう！守ろう！インチョン干潟！」と「みんなの海、共に！」というプログラムに積極的に参加し続けることを誓いました。



韓国ソウル区

青少年フォーラム「若者の世界を変える時が来た」

チュン・キュンジュが議長を務めるソウル区戦略2032チームは、5月2日、ソウル区事務所で30代の若手社会人を対象とした会合を開催しました。参加者は、若者が直面する課題や懸念事項について議論し、チームリーダーはワイズ運動を紹介しました。この会合は好評を博し、定期的なプログラムとして実施する計画が進められています。



ソウルワイズ合唱団ワイズメン&ウイメンズクラブ（チャン・バエ会長）は、北朝鮮の青少年を対象とした音楽教室の第4回を開催しました。このプログラムは、ソウル区が2024年に開始した、音楽を通して平和と相互理解を促進するための長期的な「戦略2032」の一環です。教室では、参加する若者たちに、基本的な音楽理論、朝鮮半島分断以前の伝統歌、そして現代のポピュラー音楽を、親しみやすく魅力的な方法で紹介しました。



ソウルピクサラン・ワイズメン&ウイメンズクラブ（キム・ジソン会長）は、家族月間の祝賀行事の一環として、5月1日と2日にコソン市で障がい者の家族を対象とした「分かち合いと開花の祭典」を開催しました。ソウル区から6つのクラブが参加し、地域および区のリーダーから激励を受けました。このイベントでは、様々なゲームやアクティビティが用意され、参加者は、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



韓国西区

コンジュワイズメンズクラブ（リ・チャンジェ会長）は、5月10日に開催された「コンジュ市民と分かち合う愛と命の献血キャンペーン」に参加しました。このキャンペーンはコンジュ・シンワン公園とその他2か所で行われ、コンジュキリスト教協会会員や地元住民が参加しました。



人生における最大の信仰！

ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任

ラジオの発明者であるグリエルモ・マルコーニは、人類と神との関係について非常に深く考えていました。

マルコーニは、祈りとコミュニケーションについて考察する際、しばしば海を越えて電波が伝わる様子を人間の脳の神秘になぞらえました。電波が目に見えない形で目的地に到達するように、祈りもまた、人間の理解を超えた奇跡によって目的地に届くことができると彼は信じていました。

彼は、人類が祈りの力への信仰を失うことは、悲劇であると確信していました。祈りは、人生における最大の支えの一つだと彼は考えていたのです。信仰と祈りがなければ、彼自身も最終的に克服した多くの苦難に敗れていたかもしれないと信じ、自身の成功は、神の意志の道具として用いられた結果だと考えていました。彼は、自身の人生を、神の目的と力が明らかにされる手段と捉えていました。この理解が彼を支え、神への信仰を強固なものにしたのです。

同様の精神で、ワイズメンズクラブ国際協会は、神の働きを世に知らしめるための道具となることを祈り、願っています。



米国地域ニュース

メラニー・カアイフェ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者



健康な子供の日

ヘルシーキッズデーは、アメリカのYMCAが主催する取り組みで、夏の間、子どもたちと家族が活発に過ごし、つながりを保ち、健康を維持することを奨励するものです。無料の地域イベントを通して、家族は、楽しく温かい雰囲気の中で、体力向上、健康的な習慣、学習、そして精神的な健康を促進するアクティビティを楽しむことができます。

4月18日（土）、ホノルルYMCAは、各支部で「ヘルシーキッズデー2026」を開催し、数百人の地域住民を迎え、家族向けの様々なアクティビティ、ゲーム、そして健康増進に焦点を当てたプログラムを提供しました。

ウィンドワードYMCAでは、400名を超える参加者が施設を見学し、地域のプログラムやサービスについて学びました。ウィンドワードYサービスクラブは、ホットドッグ、かき氷、水などを提供する軽食ブースを出店し、イベントを支援しました。



カリヒYMCAには約500人が参加し、カリヒ・ワイズメンズクラブは3種類のフレーバーのかき氷を約350個無料で提供しました。ヌウアヌYMCAでは、ホノルル・ヌウアヌワイズメン&ウィメンズクラブのメンバーが、フェイスペイントや景品プレゼントで子供たちや家族連れを楽しませました。

全体として、2026年のヘルシーキッズデーは、ホノルルYMCAがオアフ島全域における健康的なライフスタイル、青少年育成、そして、より強固な地域社会とのつながりに継続的に取り組んでいることを示すものとなりました。



国連デー

国連プロジェクト委員のロイズ・マラセリーが特定し、要約した6月の主要な国連記念日



ロイズ・マラセリー
国連プロジェクト委員会メンバー

世界環境デー2026

これは、地球を守り、より持続可能な未来を築くために、集団的な行動が緊急に必要であることを改めて私たちに気づかせてくれます。国連環境計画（UNEP）が主導するこのグローバルキャンペーンは、世界中の個人やコミュニティに対し、#ForClimateNow（今すぐ気候変動対策を）のために行動するよう呼びかけています。

6月5日

世界食品安全デー

6月7日の世界食品安全デーは、食中毒リスクの予防、検出、管理を支援するための意識向上と行動喚起を目的としていて、食料安全保障、人々の健康、経済繁栄、農業、市場アクセス、観光、そして持続可能な開発に貢献します。この国際デーは、私たちが食べる食品の安全性を確保し、食中毒を公共の議題に維持し、世界的な食中毒の負担を軽減するための取り組みを強化する機会となります。

6月7日

文明間対話の国際デー

文明間の対話の国際デーは、文明の多様性の価値に対する意識を高め、対話、相互尊重、そして世界的な連帯を促進し、より調和のとれた相互につながり合う世界を築く機会を提供します。この日にあたり、私たちは、対話の力を改めて確認し、相互理解と世界的な連帯の基盤となる世界の文化的多様性を称えます。

6月10日

児童労働反対世界デー

児童労働に関する最新の世界的推計と動向の発表は、重要な節目となる出来事です。国際労働機関（ILO）とユニセフによる共同報告書は、児童労働の撲滅に向けた世界的な進捗状況を包括的に評価しています。

6月12日

世界献血者デー

安全な血液および血液製剤の必要性について世界的な意識を高め、無償で献血を行うボランティアの方々の、命を救う貢献を称えます。また、アクセスしやすく安全な血液サービスが、効果的な医療制度と患者ケアの重要な要素であることを強調します。

6月14日

世界難民デー

難民の勇気と不屈の精神を称え、彼らの声を増幅させ、難民問題に対する恒久的な解決策を求めます。難民を受け入れることは、社会を強化し、包容性を育み、誰もが居場所を感じられるコミュニティを築くことを改めて認識させてくれます。政策変更や地域社会との連携から難民の声の共有に至るまで、あらゆる共同行動を通して、難民は忘れ去られておらず、孤独ではなく、希望を失っていないことを改めて示します。

6月20日

このセクションでは、YMIの価値観と使命に最も合致する、国連の主要な記念日をいくつかご紹介します。国連記念日の全リストと詳細については、国連の公式カレンダーをご覧ください。



第20回国際ユースコンボケーション

IYC 26

マレーシア、ペナン
2026年9月7日～13日

登録はここから



登録料

補助金対象参加者：200米ドル

補助金対象外の参加者：600米ドル

ワイズメンズクラブ国際協会は、IYC 26期間中の全ての食事、プログラム、アクティビティを含む残りの費用を負担し、6泊7日のプログラム全体を通して、IC 2026（国際大会）の体験を提供します。

2026年9月7日から13日まで、マレーシアのペナンで開催されるワイズメンズクラブ国際協会(YMI)の第20回国際ユースコンボケーション(IYC)にぜひご参加ください。

東南アジア屈指の美しい海岸遺産地である「東洋の真珠」で、忘れられない6泊7日間を過ごしてください。今年のIYC 26は、第75回国際大会(IC 2026)と同時に開催する歴史的な合同大会となります。世界中のYMIファミリーと交流できるまたとない機会をご提供します。

世界中の仲間がペナンで歴史を刻む、この記念すべき集まりにぜひご参加ください。マレーシアならではの心温まるおもてなし、私たちが共有する使命の豊かさ、そして海に沈む夕日とともに、私たちの夢から未来が始まる、この美しい都市の魅力を、ぜひご体験ください。



[IYC26ウェブサイト](#)



[@ysmenyouthofficial](#)



tong@ysmen.org

第20回国際ユースコンボケーション
マレーシア・ペナン | 2026年9月7日～13日

IYC26プログラムのハイライト

7
9月

- 到着とチェックイン
- IYC26開会式
- オリエンテーション

8
9月

- IYC26セッション
- 国際執行役員がIYC26の会場を訪問
- グループ課題

9
9月

- 地域奉仕活動の日
- 恵まれない子供たちを訪問
- キャンプファイヤーとバーベキューディナー
- タレントショー

10
9月

- IYC26セッション
- IC2026開会式
- 国旗パレード
- 国際会長晩餐会

11
9月

- YMIフェスティバルゲーム（IC2026参加者とともに）
- IYC26でのワイズオリンピックデー

12
9月

- エクスカーション
- 次期国際会長晩餐会
- カルチャーナイトでのパフォーマンス

13
9月

- IC2026 & IYC26 閉会式
- 国際ユース代表報告
- 証明書授与式
- チェックアウトと出発

※プログラムは、変更される場合がありますのでご了承ください。

